

「第3回 大村知事と語る会 大学生と語る地域づくりーリニモ沿線地域のにぎわいづくりー」主なご提言に係る県の対応

主な提言のポイント	県の対応
リニモ沿線を活性化させるためには、リニモの運賃を見直すべき。	リニモを運行する愛知高速交通㈱によると、リニモの運賃は、リニモ開業前のそれまでの既存路線バスと比較して、利用者の負担とならないように設定され、その上で、通学定期運賃も学生の方々に配慮した設定となっています。なお、愛知高速交通㈱の現在の経営状況では、運賃の値下げは困難であると聞いていますが、引き続きサービスの向上を図るよう、県としても会社に伝えてまいります。
リニモを観光資源化するアイデアとして、リニモ各駅にちなんだ楽曲を制作してはどうか。	<p>県と地元市で構成する「リニモ沿線地域づくり調査研究会」では、学生グループ等が提案して実行し、リニモ沿線地域の活性化につながる地域活動に対して支援を行っています。この事業は、24年度も継続する予定ですので、多くの魅力ある企画が提案されるよう、本事業を幅広く周知していきます。</p> <p>【23年度の支援事例】</p> <p>①リニモ沿線地域の農産物を活用したスイーツを創作、開発しているレストランやカフェを集めて紹介し、スイーツの販売などを行うイベント</p> <p>②学生グループが日進市、長久手市内のお勧めのお店を踏査し、リニモ利用で来店した方(リニモ駅でスタンプカードへ押印が必要)へお得なサービスを提供していただけるよう交渉し、協力を得られたお店を掲載する「お出かけマップ」の作成</p> <p>③NPO法人が、リニモ各駅を外国に見立て、リニモ沿線を巡ることにより世界を旅するという設定のスタンプラリーのイベント</p>
電飾パレード、100人警泥などの集客イベントの開催をしてはどうか。 長久手町が市になることを記念して長久手市民祭を開催してはどうか。 長久手町にあるスイーツ店、カフェなどのケーキを集めて、スイーツフェスティバルを企画してはどうか。	
場所をつくるというより、集まりをつくる方が大事。人さえそろえば、別に場所(箱モノ)は後でも構わない。集まるきっかけづくりが大事である。	
今、大学生が一番元気であり、また、愛知県は大学生数が全国で2番目に多いので、活性化のためのイベントは、大学生が主体となって行うことが重要である。	
他の大学の学生が今どういうことをやっていて、どういうことに興味があるかを話し合う交流の場等を、学生主体で設けていかないとけない。	
学生は夏休みなどの長期休暇の間はリニモの利用が減ってしまうので、この間に、週1ぐらいの頻度で、著名人や、人気のある教授を外から呼んで来て、講演会とかをモリコロパークで実施してはどうか。	
リニモ周辺地域にはおしゃれなカフェや、さまざまなジャンルの飲食店が立地するので、食を生かしたイベントを開催してはどうか。	
リニモスタンプマップを作成し、リニモの乗降時にスタンプを押印し、近隣のお店で還元できるような特典をつけるなどはどうか。 沿線地域の飲食店で利用できる特別チケットを作成し、お得に食べ歩きができるイベントの開催や店を回るごとにポイントが加算され、リニモの乗車運賃に還元されるしなげなどはどうか。	リニモを運行する愛知高速交通㈱では、リニモ利用者が沿線施設で利用できる割引クーポンを配布しており、また、その協賛店を随時募集して割り引き対象施設の拡大に努めています。 なお、リニモに乗りして当該沿線の施設を訪ねると万博エコマネーが付与されるほか、県の事業としては、リニモの定期券の所持者に対して自転車を無料で貸し出すレンタサイクル事業を実施しています。
相互に情報を共有しながら、ボランティアをやりたい学生と求めている住民とのマッチングを学生が主体となってまとめたり、大学や学生同士、さらには地域住民が交流できるボランティアセンターみたいなものをリニモ沿線に作ってはどうか。	現在、リニモ沿線でも様々なNPOが地域住民のニーズに基づき、活動をしているところです。「あいちNPO交流プラザ」ではNPOのボランティア募集情報をHP、ちらし等で提供することにより、募集团体とボランティア希望者のマッチングを支援しており、今後も引き続き情報提供してまいります。
大学同士の交流から何か他のアイデアが生まれたりもすることもある。モリコロパークに、同じ若者同士が情報交換できるような場所をつくるといいのではないか。	モリコロパークにおいて、大学・学生の情報交換等の要望があれば掲示を始め場の提供等について検討します。
リニモ沿線地域で開催するイベント情報に特化したSNSをつくってはどうか。	県では平成23年10月にフェイスブック「リニコロとびっくす」を立ち上げ、リニモ沿線の様々なイベント情報を発信しています。このフェイスブックを活用し学生企画のイベント情報なども掲載するなど、SNSの特性を生かした双方向コミュニケーションによるPRを一層充実させていきます。
県外からの学生が集まりやすくなるように、安価で泊まれる宿泊施設をモリコロパークにつくってみてはどうか。	モリコロパークにおける宿泊施設は建設当時に、採算性等を検討した結果、見送った経緯があります。今後、周辺環境の変化等により、建設の必要性や採算性が認められた時点で、改めて検討すべき課題と考えます。